

No.9 「サラダウィーク」がやってくる



-1- 8月31日は何の日？

8月31日「野菜の日」は、1983年に全国青果物商業協同組合連合会など9団体が、「もっと野菜のことを知ってほしい」「野菜をたくさん食べてほしい」という思いから、「8(ヤ)3(サ)1(イ)」の語呂合わせで制定した記念日です。キューピーではこれまでも野菜の日になんだ提案をしてきました。今年からは幅を広げ、提案を加速します。キューピーが関わる取り組みをいくつかご紹介します。

-2- 野菜の日の認知度は？

35年の歴史がある「野菜の日」ですが、気になるのはその浸透度合いです。グループでパッケージサラダの製造・販売を手掛ける「サラダクラブ」が一般の人を対象に「野菜と聞いて思い浮かぶ日(記念日など)」を聞いたところ、**野菜の日と答えた人は11.4%**。「特になし」と答えた人が7割で、もう少し認知が広がってほしいところです。ただ、近年サラダの摂取機会は増えており、家庭用ドレッシング市場は7年で115%(2011-2017年比：キューピー調べ)と2ケタ成長しています。2016年にはそれを後押しするように、カレンダー上で8月31日の上(野菜にかける)の日にならみ、8月24日が「ドレッシングの日」に制定されました。そこでキューピーは今年から、サラダにまつわる記念日2つをつなげた8月24日~31日を、サラダを楽しむ1週間、すなわち「**サラダウィーク**」とすることにしました。

-3- 駅で、オフィスで。新たなシーンで野菜を。

2017年に続き、「ENJOY! 駅サラ」を提案するのはエキナカ商業施設「ecute(エキュート)」^(注)。9施設で合計100種類以上の野菜メニューが登場します。オフィス向けに置き野菜サービス「OFFICE DE YASAI」を展開する「KOMPEITO」では8月31日に、東京・渋谷エリアのベンチャー企業50社に向けてランチサラダを無償配布します。キューピーが提案する渋谷生まれのサラダ「#シブサラ」^(注)で、働く人の野菜摂取を応援します。さらに、キューピーとぐるなびが運営する、外食での野菜摂取を応援する「MOTTO VEGE」プロジェクトでは、アンバサダー約600店で「サラダweekキャンペーン」を展開しています。



#シブサラ(イメージ)



-4- 夏休みには「野菜」を学ぼう

7月23日~8月31日の期間、マヨテラス(東京都調布市)では、夏休みの自由研究になんだイベント「**手作りマヨネーズで野菜を食べよう!**」を開催しています(要予約)。小学生とその保護者を対象に、「年齢に合った野菜摂取量」などをオリジナル教材で楽しく学ぶことができます。



好評につき、今年から開催期間を拡大しています。

-5- 野菜をもっと盛り上げたい!

キューピーは他にも「野菜の日」になんだオリジナルムービー^(注)を公開しているほか、8月31日~9月2日には、**アーバンドック ららぽーと豊洲**で「キューピーとヤサイな仲間たち PARK」を開催します。こだわりの野菜や食品を扱う道の駅が集まる「道の駅マルシェ」や「野菜クイズラリー」に加えて、ドレッシングを4種から選べるサラダの試食提供(数量限定)も行います。

夏の猛暑が今後の野菜の生育に与える影響も心配ですが、キューピーは野菜を楽しみながら食べてもらいたいという思いで、これからもさまざまな提案を続けていきます。